

令和4年度 看護師の業務負担軽減計画

区分	大項目	小項目	前年度までの取り組み	今年度の目標	年度末の達成状況	
①	看護師・事務等の業務分担	入院時の案内及び費用の説明、入退院手続きの省力化など	入退院センターの設置	患者情報収集や入院生活の説明に関して予約制を検討。	患者情報収集や入院生活の説明に関しては、希望者にipad(動画)による入院説明を導入、また、デジタルサイネージを利用して、入退院センターの業務内容の説明、情報周知を図る。	高齢患者が多い現状や金額的な都合からipadの導入は断念した。入院のしよりの内容を整理、北大病院HPの入院案内に関する動画を改訂し公開を待っているところである。業務整理、分担はできており取り組みは終了とする。
②	看護師の業務分担	・栄養士の病棟・外来への配置	外来化学療法における食欲不振等に対し栄養評価等(ベットサイドでの栄養指導)の実施	専従栄養士の病棟配置：入院栄養管理体制加算(R4新規診療報酬)対象病棟を検討し、専従の管理栄養士を配置する。 専任栄養士：早期栄養介入加算の算定を検討する。 外来化学療法中患者への栄養食事指導の実施件数を増やす	病棟配置と早期栄養介入加算の算定については検討、手順等を確認し、達成  外来化学療法の栄養食事指導依頼は増えておらず、アピールが足りなかったと考えられ、未達成	
③	看護師の業務分担	チーム医療 ・糖尿病 ・腎臓病 ・肝臓病 ・緩和ケア ・褥瘡 ・摂食嚥下 ・NST ・心不全 他	各チームの対象症例の栄養評価、ラウンドへの同行を行い、できるだけ多くの患者の病態にあわせた栄養評価を実施する。	各チームの対象症例の栄養評価、ラウンドへの同行を行い、できるだけ多くの患者の病態にあわせた栄養評価を実施する。	達成	
④	看護師の業務分担	クリニカルパス	新規	院内クリニカルパスに必ず組み込まれている食事オーダー情報を的確に調整する。(リスク低減のため)	達成	
⑤	処遇改善	定年後の再雇用看護師の活用	積極的な雇用	前年度は再雇用や短時間勤務による雇用を希望した職員がいなかったが、以前の再就職者は勤務を継続している。積極的に勧誘できるよう、今年度から定年後の働き方、活躍の仕方について検討を開始する計画とした。	活躍促進のための準備を整え、再雇用を希望する看護師を増やす。	個人の希望を確認し嘱託職員、短時間勤務職員など多様な働き方ができている。令和4年度に定年退職した看護師のうち4名が引き続き本院で勤務することとなった。令和6年度以降、定年延長が行われるため、新たな働き方について検討する必要がある。